

月に1回、診察にまいります。
気になる症状がある方は、
お気軽にどうぞ！

西能病院

毎月第２月曜

リウマチ・膠原病（こうげんびょう）の
専門診療が受けられます

2026 年 4 月 13 日より、富山大学附属病院第一内科教授・
加藤将医師による外来がスタートします。



自己免疫疾患 膠原病（こうげんびょう）って？

本来、細菌などから体を守る「免疫」が、誤って自分自身を攻撃し、
全身の血管や関節などに慢性的な炎症を引き起こす病気の総称です。

- **日本人の 100 人に 1 人が発症。その 8 割は女性。**
- **働き世代、子育て世代（30〜60 代女性）の発症率が高い。**

自己免疫反応
自己の免疫が正常な細胞や
組織を攻撃してしまう

体の中で
炎症反応が起こる

現れる症状は人それぞれ

- 関節痛 ・倦怠感 ・発熱
- 体重が急激に減る
- 体がこわばる
- 指先が白色〜紫色になる…など

代表的な疾患：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス（SLE）、
強皮症、多発性筋炎など



早期発見・早期に適切な治療を行うことが大切！

自己免疫疾患は、早期に発見し適切な治療を行うことで、寛解（症状が落ち着いた状態）に至る確率が高まります。一方で、治療が遅れると関節の変形や、肺や腎臓などの合併症につながり、治療が難しくなることもあります。「最近疲れがとれにくい」「指先がこわばる」そんな変化を感じたら早めの受診をお勧めします。

院内外のスムーズな連携と専門的アプローチが可能に

西能病院では、内科・整形外科が連携し、患者さんの状態に応じた治療を行っています。内科では、全身状態を踏まえた投薬治療を中心に、整形外科では関節や骨の専門的な診療に加え、リハビリ・手術にも対応しています。また、必要に応じて富山大学附属病院とも連携し、より専門的な治療につなげています。



西能病院 内科（リウマチ・膠原病）
毎月第２月曜 午前8:30〜11:30

profile 加藤（かとう） 将（まさる） 医師

2011年　北海道大学大学院医学研究科修了 医学博士
2012年　スイスチューリッヒ大学病院リウマチ科 研究員
2015年　北海道大学病院内科II 助教
2021年　北海道大学病院内科II（リウマチ・腎臓内科）講師
2024年　富山大学学術研究部医学系内科学第一講座 教授

病気が発覚しても悲観しないで。
「体質」と捉えることを勧めています！

私はこの病気を一つの「体質的な特性」と捉えるようお勧めしています。今は医療が進歩し、適切な治療を続けることで健康な人と変わらない生活を送ることができます。これを「社会的寛解」と言い、自己免疫疾患における大切な治療目標だと考えています。「治癒」と「寛解」という言葉の違いを正しく認識することは、この病気と向き合う上で特に重要なことです。
患者さんご自身が幸せかどうかを大切に、病気と上手に付き合い、明るく前向きに毎日を過ごしていく方法を一緒に考えていきましょう。

